

事務事業名		公用車購入事業(軽4駆)			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり			所属課	建設水道課	担当	地籍調査担当
	施策名	0:3: 計画的な土地利用と都市施設の整備			課長名	斎藤 秀人	担当者名	中山 幸信
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
		一般	0:2	0:1	1:1	0:0:1	地籍調査費	
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査業務に必要な不可欠として軽自動車(スズキジムニー)を使用、管理しているが、平成5年登録、走行距離11万キロといった車両であり、老朽化、劣化が著しく、修繕用の部品も提供がストップしているものもあることから、同等な形状の車両を購入する。 ・※H29.6.29車検満了 <p>2 概算事業費</p> <p>スズキジムニー 四輪駆動 5速MT 1,425千円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画 (活動の量・大きさ・規模等)	・公用車購入	名称	単位
		ア 公用車購入	台
② 対象 (事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	・地籍調査業務	名称	単位
		ア 年間使用日数	日
③ 目標 (この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	・安全、安心な現地調査、立会業務の確保	名称	単位
		ア 車両使用時の事故件数	件

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値		1				0
	イ	実績値						0
対象指標	ア	目標値		120				0
	イ	実績値						0
成果指標	ア	目標値		0				0
	イ	実績値						0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
	事業内訳	県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円		1,425		0
		事業費計 (A)	千円	0	1,425	0	0

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				
	事業内訳	県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計 (A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	国が推奨する事業に供する車両の購入 既存車両の入替であり、台数増とするものではない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	既存車両の修繕も限界を迎えている	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	既存車両と同等な車両の新車価格を市場調査した結果	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	業務に必要不可欠の車両であり、住民サービス上、公平と判断している	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 29 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・誰でも運転できるようマニュアル車でなくオートマチック車とすることを検討すること。	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業